

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1864	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	観光振興策の推進	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	環境経済部・商業観光課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐	■全市					
	⑤事業期間	令和2年度 ~			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.7人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	2,534千円		当該(開始)年度	(当初)	6,990千円 (うち人件費 6,090千円)		(変更後)	6,840千円 (うち人件費 6,090千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	●有 ○無	部門別計画への位置づけ	(計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努め、観光振興策の推進を図ります。また、手賀沼観光施設誘導方針を周知するとともに、地区内にある農産物直売所アンテナショップ跡地を活用していく。			事業目的	観光振興計画を推進し、交流人口の拡大によるまちの活性化を図る。					
(3) 事業内容	内容	平成30年度に策定した第二期観光振興計画のアクションプランについて、序内連携を図りながら、事業を推進していくとともに、観光振興計画推進委員会において、計画の推進、進捗管理などを行っていく。また、アクションプランの実現のため策定した「手賀沼観光施設誘導方針」を周知するとともに、地区内にある農産物直売所アンテナショップ跡地を活用していく。			当該年度執行計画	通年：観光振興計画アクションプランの検討・推進、観光振興計画の見直しの実施 4~5月：アンテナショップ跡地の活用事業者決定 6月：第1回観光振興計画推進委員会（前年の実績報告、観光振興計画の評価・見直しの方向性など） 12月：第2回観光振興計画推進委員会（今年度の進捗状況、そのほか観光施策についての報告など） 2月：第3回観光振興計画推進委員会の開催（今年度の進捗状況、次年度観光施策予算の報告など）					
		当該年度活動結果指標	観光振興計画推進委員会開催回数	単位	回	想定値	3		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	観光振興計画を推進する			直接	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%	100	100		
令和3年度	観光振興計画を推進する			-	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%		100		
令和4年度	観光振興計画を推進する			-	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率		%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	観光振興計画推進委員報酬 14人×3500円×3回	147	農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7
		* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×2回	14	* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×1回	7	旅費(普通旅費、研修旅費) 交際費(部交際費)	67	旅費(普通旅費、研修旅費) 交際費(部交際費)	67
		旅費(普通旅費、研修旅費) 交際費(部交際費)	64	旅費(普通旅費、研修旅費) 交際費(部交際費)	39	旅費(普通旅費、研修旅費) 交際費(部交際費)	67	需用費(消耗品費、印刷製本費) 負担金(ちばプロモ、黒船祭)	13	需用費(消耗品費、印刷製本費) 負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28
需用費(消耗品費、印刷製本費) 使用料及び賃借料(有料道路ほか)	205	需用費(消耗品費、印刷製本費) 使用料及び賃借料(有料道路ほか)	11	需用費(消耗品費、印刷製本費) 使用料及び賃借料(有料道路ほか)	310	需用費(消耗品費、印刷製本費) 使用料及び賃借料(有料道路ほか)	13	需用費(消耗品費、印刷製本費) 使用料及び賃借料(有料道路ほか)	314		
負担金補助及び交付金(利根町花火費助金ほか)	325	負担金補助及び交付金(利根町花火費助金ほか)	178	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	199	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28	負担金(ちばプロモ、黒船祭)	28		
* 農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×2回【9月補正】	14	農産物直売所AS跡地活用事業者選考委員報酬 2人×3500円×2回【9月補正】	△150								
* 農産物直売所アンテナショップ跡地除草業務委託【9月補正】	93										
予算(決算)額	合計		885	合計	750	合計	576	合計	429		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		885		△1,650		△4,224		△4,371		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 ■その他	2,400	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,800	□特会 □受益 □基金 ■その他	4,800		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.8		0.7		0.73		0.73		
	正職員人件費		7,040		6,090		6,351		6,351		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		7,925		6,840		6,927		6,780		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,641.67千円/回		2,280千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	近年、手賀沼文化拠点整備計画の推進や観光案内所としての機能を備える我孫子インフォメーションセンター「アピシルベ」の開館等、我孫子市の魅力向上及び情報発信機能の充実が図られてきたが、今後、交流人口の拡大によるまちの活性化を全体的に進めていくためには、市民・事業者・行政の連携が必須であり、その指針となる市の観光振興計画を平成24年度に策定した。25年度以降は計画の推進をし、まちの活性化を図る。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			<その他の内容>					
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他			計画の推進及び推進委員会に市民・事業者の参画がある。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境への配慮	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他			手賀沼をはじめとする豊かな自然環境は、我孫子の観光資源であり、それらの活用を計画に盛り込んでいる。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	事業費削減率(%)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	○⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.46	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			